



第51回
にかほ市のかほ紹介
絵: 板垣奈々



—材料—(4人分)
・ゼラチン 5g
・水 30ml
・豆乳 360ml
・素焚糖(すだきとう) シロップ 30g
・ジャスミンティー 250ml
・素焚糖(すだきとう) 20g
・クコの実 8粒



vol.34 心旅する台湾風スイーツ ジャスミンティー シロップの豆花

一作り方

- ①容器に水を入れ、ゼラチンをふり入れてふやかす。
- ②豆乳を耐熱ガラスボウルに入れ、600wのレンジで4分加熱する。
- ③②に素焚糖と①を入れ、溶けるまでゴムベラで混ぜる。
- ④③のボウルを氷水に漬けて粗熱を取る。スプーンで表面の泡を取り除き、ラップをして冷蔵庫で2時間半ほど、固まるまで冷やす。
- ⑤シロップを作る。鍋にジャスミンティーと素焚糖を入れて火にかけ、素焚糖が溶けたら火を消す。クコの実を入れて粗熱を取り、冷蔵庫で冷やす。
- ⑥④とお好みのフルーツ、あんこなどを器に盛り、⑤をかける。

フルーツ、
あんこなど
お好みで!



レシピ・撮影協力：仁賀保高等学校クッキングクラブ（NCC）

姉妹都市締結35周年を迎えて アメリカ・オクラホマ州ショウニー市訪問団来日

7月31日から8月5日にかけて、アメリカ・オクラホマ州ショウニー市から訪問団一行12人が訪れました。ショウニー市にTDKの工場があった縁で、平成2年に姉妹都市提携を調印して以来、中学生を中心とした交流事業は今年で35周年を迎え、太平洋を越えて本市とショウニー市を行き来した団員は延べ1,000人を超えています。

一行は市役所を表敬訪問し、引率のロッド・テイラーさんから市川市長に姉妹都市35周年を記念した楯が贈られました。また、仁賀保中学校では生徒とともに書道体験や太鼓演奏体験、平沢海水浴場ではクルージング、秋田市での竿燈祭りなど、本市や秋田の自然・文化を満喫した6日間となりました。



▲晴天に恵まれ日本の夏を満喫、にかほ市でのさまざまな出会いや体験は忘れられない思い出となりました



鳥海山・飛島ジオパークリレーコラム ～日本海と大地がつくる水と命の循環～ vol.128

『大地の動きと鳥海山の噴火がつくるイチジク』

中 東のアラビア半島が原産とされるイチジクは、クワ科イチジク属の落葉樹です。イチジクと人の関りは古く、聖書に登場するアダムとイブが最初に身に付けたのがイチジクの葉とされています。日本には江戸時代に伝わり、明治以降に多くの品種が栽培されるようになりました。



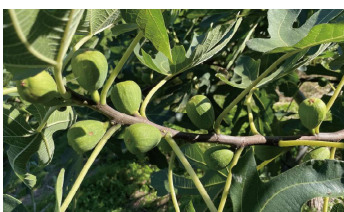
一般社団法人鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会
事務局次長兼主任研究員
おのおの まれかず
大野 希一 さん

亜熱帯産のイチジクは寒さに弱く、また葉が大きいので、寒冷地や風の強い場所は栽培に適しません。さらにイチジクは水分を必要とする割には耐水性に弱いため、育成には適度な水分を保持する必要があります。

にかほ市大竹地区は大地の動きがつくった高台の陰に位置しているため、日本海から吹き付ける

季節風がほとんど当たらず、また標高も高くないので冬でもあまり気温が下がりません。またこの地域には、鳥海山の火山灰に由来する黒ボク土が分布しています。柔らかい黒ボク土は適度な水分を保持する性質を持ち、イチジクの栽培にはうってつけです。イチジクの栽培に適した地形と土壌、そして人々の努力が、この地域で農作物としてのイチジク生産を支えています。

9月から10月に旬を迎えるイチジクを使った甘露煮は、厳しい冬を乗り切るために生み出された食文化の一つです。一粒のイチジクの甘露煮には、地域の自然環境に対応するための人々の知恵が詰まっています。



▲にかほ市の特産品の一つであるイチジク。「大竹いちじく」は農水省の日本地理的表示（GI）にも登録されています。

人権擁護委員

7月1日付けで、人権擁護委員が再任されました。任期は、令和7年7月1日から令和10年6月30日までの3年間です。

(再任)

阿部 寛子 さん(芹田)
齋藤 由美子 さん(馬場)
齋藤 隆 さん(琴浦)

川にて建設予定の小水力発電施設から、災害・停電時に市指定避難所3箇所へ蓄電池の無償貸与が行われます。



石原広明代表(左)と市川市長

協定

7月31日、にかほグリーンエネルギー合同会社との「災害時等における電力供給に関する協定」が締結されました。この協定により、同社が奈曾

各種大会結果

にかほ市消防訓練大会
▷消防団長表彰(団体表彰)▷小型ポンプ車操法の部①第6分団第3部1班(釜ヶ台)／②第3分

団第2部1班(川袋)③第6分団第1部2班(小国)▷市長表彰(個人表彰)▷小型ポンプ操法の部／第6分団第2部1班(田抓)佐藤弘康(指揮者)／第2分団第1部1班(小滝)土井昌平(1番員)／第2分団第1部1班(小滝)齋藤雅央(2番員)／第2分団第3部2班(大森)櫻山純平(3番員)

(訂正)
『広報にかほ』8月1日号・No.477・20ページ・まちの話題に掲載の消防訓練大会の写真下の文章「2年連続」は正しくは「3年連続」です。

全国少年少女カヌー大会
▷女子5・6年生普及艇(200m)／②佐々木優梨(平沢小)▷女子カヤックシングル(200m)／③須藤さくら(平沢小)▷女子カヤックペア(200m)／②佐々木優梨、須藤さくら(平沢小)

その他

5歳児健診でむし歯のなかったおともだち
佐藤瑚湖乃、佐藤朱莉、伊藤颯星、齋藤灯陽、工藤奈絆、齋藤奏、田宮理葉、熊谷莉菜、樋口天鞠